

3 安心して暮らせるまちづくり

3-1 地域福祉の推進

■現況と課題

1. 支え合う地域づくりの推進

地域では、少子・高齢化の進展、核家族化などによる家庭環境の変化などに伴い、子育て不安の増大、介護者の負担増加、一人暮らし高齢者の孤立化などが課題となっており、その福祉ニーズは多様化しています。こうした状況に対応し、誰もが安心して暮らせるまちづくりが強く求められていることから、住民一人ひとりが地域福祉の担い手としての意識をもち、お互いの立場を理解し、福祉に対する理解と協力を求め、地域連携の中で充実した生活を送ることができるよう、各種福祉団体やボランティアの実践活動を推進できる体制づくり、地域ぐるみで支え合う地域づくりを進めていく必要があります。

こうした地域の福祉ニーズに対応するためには、住み慣れた地域社会を中心としながら、住民一人ひとりが地域福祉の担い手としての意識をもち、お互いの立場を理解し、福祉に対する理解と協力を求め、地域連携の中で充実した生活を送ることができるよう、各種福祉団体やボランティアの実践活動を推進できる体制づくりが求められています。【12】

2. 人にやさしい環境の整備

社会環境が急激に変化する中、誰もが住み慣れた地域で生きがいを持ち、自立した生活を送ることができる安全で快適な環境の実現が求められています。

そのためには、ユニバーサルデザインの理念の普及を図るとともに、公共施設や公共空間の整備はもとより民間施設と連携し、まち全体のバリアフリー化など高齢者や障害者が安心して外出しやすい環境の整備を推進する必要があります。また、居宅のバリアフリー化を支援するなど住宅環境の整備を図る必要があります。【1~4】

■今後の方向性

1. 支え合う地域づくりの推進

1 これからの高齢社会で、社会的弱者に対し、適切に対応するためには、福祉サービスの充実はもとより家庭や地域社会における人々の連携に基づく多様な生活支援が重要なことから、住民や行政、社会福祉協議会、ボランティア団体などとの連携を図り、互いに支え合う地域づくりを推進します。特に地域福祉活動の中核的役割を担う社会福祉協議会と連携し、ボランティアの育成と啓発普及に努めます。【①~⑤】

2 地域福祉の基本構想となる地域福祉計画を策定します。【⑥】

2. 人にやさしい環境の整備

1 障害者や高齢者などが社会の中で他の人々と同じように生活し、活動や社会参加ができるような環境の充実を図るための意識啓発に努めます。【⑦】

2 高齢者や障害者が安全で快適な住生活を送り、介護者の負担軽減を図るため、住宅の新改築に関する相談などの支援体制の充実を図ります。(住宅設備改善に関する相談体制の充実) 【⑧】

3 高齢者や障害者などが、積極的に社会参加ができるよう公共施設のバリアフリー化を推進します。また、民間施設に対してもバリアフリー化を要請します。(公共施設、公共空間などのバリアフリー化) 【⑨】

4 道路、公園などの施設において高齢者や障害者などのニーズにあったバリアフリー化を促進し住み良い生活環境づくりに努めます。【⑩】

■実施事業

- ①地域福祉推進組織支援事業
- ②ボランティア銀行事業
- ③浦河町社会福祉協議会補助金
- ④ボランティア育成事業
- ⑤地域福祉情報誌の提供
- ⑥地域福祉計画の策定事業
- ⑦ノーマライゼーション意識の啓発強化
- ⑧建築、福祉専門職のアドバイザーの派遣
- ⑨ユニバーサルデザインに考慮した施設整備
- ⑩道路整備事業など（再掲）